

# 一般質問(要旨)

**営業時間短縮要請の影響を受けている事業者への支援**

**議員** 本県は、独自で緊急事態宣言を発し、営業時間短縮要請をしてきた。このため、独自の支援策を打ち出し、影響を受けている事業者を継続的に支援していくべきと考えるが、今後の取り組みは。

**知事** 営業時間短縮要請に伴う飲食店への協力金の支給や、県独自の緊急事態宣言の影響を受けた事業者への一律二十万円の支給のほか、新分野進出に取り組む事業者向けの融資の拡充などにより、事業者支援に全力で取り組む。



星田 弘司 議員  
いばらき自民党  
つくば市選出  
分割方式

**働き方改革を踏まえた部活動改革**

**議員** 国は、働き方改革を踏まえた部活動改革として、休日の部活動を地域へ移行していく方針だが、本県は、子供たちに望ましい部活動の在り方をどう構築するのか。教育長 部活動を地域へ移行するには、運営団体の確保、学校と地域団体との費用負担など、課題があるため、次年度、県内二か所のモデル校で実証研究をし、休日の部活動の在り方を見直していく。(ほかに、若年がん患者の妊孕性温存療法<sup>※1</sup>への助成、障害者スポーツの振興なども質問)



つくばFCの指導者が指導する様子  
(谷田部東中学校)

**コロナ後遺症に苦しむ方々への支援**

**議員** コロナ後遺症に悩む方々が增大している。県は、後遺症の現状をどう認識し、今後、増大することが想定される後遺症に苦しむ県民への支援にどう取り組むのか。

**保健福祉部長** 後遺障害は、いまだ不明なことが多く、国では、発症頻度や障害の持続期間など、全国のデータを集め研究を進めている。県では、苦しんでいる方が孤立しないよう、保健所などの相談窓口のさらなる周知を図り、相談者に寄り添った対応を心掛ける。



高橋 勝則 議員  
いばらき自民党  
古河市選出  
一括方式

**地域事情に応じた特別支援学校の充実**

**議員** 特別支援学校の地域事情などに応じた、通学ルートや通学時間の適正化、また、老朽化した特別支援学校の計画的かつ迅速な改修にどう取り組むのか。

**教育長** スクールバスのルートや停留所の数など必要な見直しを行う。老朽化対策として、長寿命化計画を策定したところであり、今後は計画的に予防保全を行うなど、適正な維持管理と整備を行う。(ほかに、軽自動車不正登録による犯罪の現状と対策、国道四号既設信号機の機能強化なども質問)



特別支援学校の計画的な改修を  
(下妻特別支援学校)

## 県議会の録画中継をご覧ください

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各会派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。

議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題を、より身近に感じていただけます。

県議会の録画中継は、以下のURL又はQRコードからご覧いただくことができます。

録画中継

- 会議名でさがす
- 議員名でさがす
- 会派名でさがす

用語検索

検索対象は、会議名、議員名、会派名、質問項目です。

県議会ホームページ  
(録画中継コーナー)

<https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/>

※QRコードは株式会社ウェブの登録商標です。

QRコードを掲載しました

代表質疑者(2面)、代表質問者(3面)、一般質問者(5面)、予算特別委員会質疑者(10面)にQRコードを掲載しました。こちらから質問などの録画映像をご覧ください。

**質問者**

3月5日(金)

星田 弘司 (いばらき自民党)

中村 はやと (無所属)

高橋 勝則 (いばらき自民党)

3月8日(月)

田村 けい子 (公明党)

田口 伸一 (いばらき自民党)

外塚 潔 (いばらき自民党)

3月9日(火)

水柿 一俊 (いばらき自民党)

岡田 拓也 (いばらき自民党)

山中 たい子 (日本共産党)

3月10日(水)

遠藤 実 (県民フォーラム)

石塚 隼人 (いばらき自民党)

萩原 勇 (いばらき自民党)

議場の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。

**通常営業時間に戻していく試み**

**議員** 飲食店に対し、店の滞在時間や人数を制限するよう協力いただき、営業時間の短縮要請ではなく、営業時間を通常どおりにする取り組みも必要であるが、所見は。

**知事** 滞在時間や人数を制限することも一つの考え方だが、一方で実効性の担保に問題もある。県では、会食時でもマスクなしでの会話を極力減らすことが重要と考え、具体的な事例に基づいた情報発信を行うほか、国などの専門家の見解を踏まえた適切な対策を講じる。



中村 はやと 議員  
無所属  
古河市選出  
一括方式

**経営規模に応じた茨城県独自の支援**

**議員** 飲食店の事業者や県民の生活を守るためにも、事業者の経営規模に応じた茨城県独自の支援について検討してほしいが、所見は。

**産業戦略部長** 県では今年度、三年間無利子の融資制度を創設するなど、事業者の規模や状況に応じた支援の充実強化を図っている。また、国の雇用調整助成金など、支援策の活用促進にも注力し、必要な支援に迅速に取り組んでいく。(ほかに、実態に即した新型コロナウイルス感染症対策、マイクロツーリズム<sup>※2</sup>の推進なども質問)



飲食店を再開している飲食店への充実した支援を

**WWLの取り組みの強化**

**議員** わが県にはWWLの拠点校がなく、指定を急ぐべき。高校単独の取り組みには限度があるため、県としてどう強化していくのか。

**教育長** 昨年度、土浦一高がWWLに応募したが、採択には至らなかった。県内高校の指定を目指し、インドネシアの生徒と森林環境問題に取り組む埼玉県の筑波大学附属坂戸高校を視察した。今後は、先進校の好事例を紹介するなどして機運を高め、国外の大学や研究機関などとの連携構築に取り組む。



田村 けい子 議員  
公明党  
つくば市選出  
一括方式

**自殺対策の強化**

**議員** コロナ禍で女性の自殺者が増加している。本県の相談窓口は昼間のみだが、愛知県はLINEによる夜間窓口を開設した。相談や情報提供の強化について所見は。

**保健福祉部福祉担当部長** 県は、平日の相談員を二人に拡充し、来年度から土日も同様にする。また、四月から、茨城ののちの電話で開始するLINE相談の状況を踏まえ、相談体制の強化を検討していく。(ほかに、生物多様性の保全と生態系の持続可能な利用、つくば国際会議場の活用方針なども質問)



県内高校の指定に向けWWLの取り組み強化を

※1 【妊孕性(にんようせい)温存療法】 …がんを治療するための化学療法や放射線療法で生殖機能が損なわれることがあるため、精子、卵子などを凍結保存して、不妊に対処する治療のこと。本県は、令和3年度予算で同療法を受ける若年がん患者への助成事業を実施予定。

※2 【マイクロツーリズム】 …株式会社星野リゾートが提唱した観光スタイルで、地域の魅力再発見を念頭に、自宅から1時間圏内を目的地とした観光のこと。